

# 令和4年度事業報告

会員の皆様には、令和4年度の事業推進に当たり、新型コロナウイルスの影響が日常化する中での状況に応じた行事開催に多大のご理解ご支援ご協力を賜わりありがとうございました。

新型コロナウイルスについては、2類から5類への取り扱い変更により、規制緩和が進むものの、未だ完全収束にはいたらず、予断を許さない状況が続いています。長引くコロナ禍での気のゆるみが見られますが、第9波の懸念もあり、今少し慎重に対応して行きましょう。思いきり剣道・居合道・杖道ができる日が一日も早く来ることを願っています。

## はじめに

### 令和4年度の特殊事情として「新型コロナウイルス対策」について

全日本剣道連盟と情報交換を密にし、ただただ自粛でなく「今やれることを工夫してすぐやる」をKEY WORDに機動的に対策を講じた。昨年度はコロナに翻弄されたが、本年度は「with コロナ体制」へ軌道に乗り、可能な範囲で行事の開催を進めることができた。

#### A. 事務局体制 再開に向けて体制を維持しながらリスク回避

コロナ感染防止対策・・・感染防止マニュアルと機材の備えを徹底した  
行事開催・中止判断・・・判断基準を確立し、迅速な対応を図った

#### B. 再開に向けて 全剣連と情報交換を密にし、「大阪版ガイドライン」に基づき前向きに対応

審査会・・・体育施設のコロナ感染防止規制に則って、会員の皆様のご理解、ご協力の下、密にならない動線確保と座席・待機場所のスペース確保、備品やフロアの徹底消毒、入館前の手指消毒・体調確認票の全員提出と厳格チェック・非接触体温計での効率的な検温等により入館前の水際防止対策を徹底した。更に無観客・日程分散開催・午前午後の二部制・実技の複数審査・学科審査のレポート提出化等柔軟思考で対応した。

講習会・大会・・・人数規制、座学時のイス固定、換気・消毒の徹底等を行った。

暑中稽古・寒稽古・・・参加人数が多く、不特定となるため慎重に対策を講じた。

各種会合・・・換気・消毒他感染防止対策の整った会場選択のほか、Zoom等のWebによる会議運営を推進した。

#### C. 活動再開の先（新規参入者の剣道離れ等）を見据えて

（未来構想）各団体指導者に対するアンケートを分析し、10年先を見据えて「今やっておかなければならないこと」を抽出し、関係委員会の組織力を統合活用する「少子高齢化対策連絡会議（略称：SKR）」を立ち上げ、行動を開始した。

（総務・賛助WG）新人募集を支援するgoods（大阪版剣道の心キーホルダー等）を配布した。

（広報・総務・普及）行事が規制される中で会員との絆を保つ双方向コミュニティ情報誌「おおさか剣道かわら版」をweb発信し展開した。

## 基本的な課題として

### （1）「少子高齢化とコロナ禍での剣道離れ」について

剣道界全般の流れとして、少子高齢化の影響とコロナ禍による剣道離れの危惧が大きく身近に感じられた年であった。

全体を概観すると、新生児出生数が第1次ベビーブーム時代（270万人）の1/3（約80万人）に減少し、これまで横ばいを続けてきた総人口が、徐々に減少の傾向が見えてきたことはご承知の通りで、年齢別の人口構成を比較すると、確実に1年ずつ年齢層が高くなっている。更に今年度も高校卒業直後の19歳が200名は少し上回ったが、大学卒業直後の23歳が300名を割るなど、過去最低を記録した。コロナ禍での若年層の節目での剣道離れの実態が見えてきた。

当連盟の会員人口に比例すると考えられる昇段審査受審者数の推移を見てみるとそれがよくわかる。年度により変動はあるが、公益法人化し正確な統計を取り始めた10年ほどは、年平均2%程度の減少傾向が続いていたが、特に、この3年間では新型コロナウイルスの影響による初・二段クラスの受審者数の減少が著しく、令和4年度で若干回復傾向がみられたものの、13年前と比較すると36%（年平均2.8%）の減となった。

この人口を次へ引継ぎ、如何に生涯剣道につなぐかというのが、大きな課題である。

（定款 第3条）「わが国の伝統と文化に培われた剣道（居合道、杖道を含む）を、正しく継承し、剣道の普及振興を図り、もって府民の健全な心身の育成に資する」ことを大命題とする当連盟としては、最重要課題として「少子高齢化」と「コロナ禍が常態化する中での剣道離れ」に危機感をもって真剣に取り組んで行かなくてはならない。

すそ野を広げる活動も重要であるが、一方この程度の少子高齢化は避けられないとすれば、これに見合った事業展開を検討する時期にも来ている。

## （2）「賛助会員制度」による支援活動について

スタート後8年目を迎えた賛助会員制度には、約300件、200万円を超えるご協力をいただいた。残念ながら長引くコロナ禍で漸減傾向にあるものの、t o t oスポーツ振興基金からの少年大会への助成に目途が立ってきたことから、賛助会員制度の所期の目的に沿ったバランスの良い支援活動の継続展開を目指した。

以下、支援活動の状況

- A. 少年・・・第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- B. 女性・・・2023 オールおおさか剣道WOMANフェスタ→大会は中止
- C. シニア・・・第5回大阪剣道マスターズ大会は参加者皆様の協力を得て無事開催できた。
- D. 大阪版「剣道の心」・・・稽古・行事が出来ない中で、剣道大好き仲間の絆をしっかりと支えるべく、大阪版「剣道の心」普及活動を中心に唱和をテーマにした面手拭い、キーホルダー、缶バッジの制作・配布による「コロナに負けるな キャンペーン」を推進した。

また、公益法人として会員の皆様の便宜を図るため、「税額控除制度」の適用申請を進め、許認可を得たことはご承知の通りで、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」の選択が可能となり、より有利な税務上の優遇策を受けられることとなったことを周知徹底した。なお一層のご支援、ご協力を賜りたい。

## （3）「財政基盤の確立」について

当法人の財政は、「個人会費」と「審査料・登録料」を基盤としてきた。ご承知のように、公益法人を取り巻く事業環境はより一層厳しく、「個人会費」は少子化が進み、「審査」はコロナ禍で、新入の初・二段受審者が減少に歯止めがかかったものの、コロナ前の「水準には程遠く、厳しいやりくりとなった。更に収支相償（大きな赤字も、大きな黒字もだめ）という公益法人に課せられた難しい縛りの中で、財政基盤の安定確立化に取り組んだ。

基本方針として、公益法人化の原点に戻り、安易に会費・審査料等の値上げに頼らない財政運営を目指した。1年毎の単年度思考を改め長期的な視点に立つ中期計画の展開に、ここ数年取り組んできた。長引くコロナ禍の常態化も勘案し、様々なコストプレッシャー要因を把握整理した上で、赤字事業の見直し、一般管理費の削減等聖域のない徹底した緊縮財政に取り組んだ。各方面でご理解、ご協力をいただいております、これを継続し、安定した財政基盤の確立を推進した。

審査会については前述の通り、皆様方のご理解、ご協力の下、工夫展開し、予定の回数を開催することができたが、コロナ前までの回復は難しく、受審者数の減少が大きく影響した。

少年大会の無観客開催をカバーすべく、Live 配信を行ったことにより費用増になったが、事務局を中心に徹底したコスト削減策を実施したことにより、当初懸念された大きな赤字は回避することが出来た。引き続きこの体制を持続徹底する。

#### (4) ガバナンス・コンプライアンスの取り組み

以上の基本的な課題に加え、特に昨今スポーツ界を騒がせている「体罰・暴力的指導」「ジェンダーギャップ」への対応を強化する。剣道家の常識が世間一般の非常識とならないよう、技術のみに偏らない「人間形成につながる」指導法の研鑽と更なる指導者育成に向けて対策を検討推進中である。

その他事業については

- (1) 定款に定められた各種大会、講習会、講演会、昇級・昇段審査会、各種大会等への選手・役員  
の派遣、功労者表彰、安全衛生対策等諸事業については、コロナ禍で中止を余儀なくされたものもあるが、出来る範囲で各委員会・事務局が中心になって年間行事予定に従い準備、推進した。
- (2) 中学校の部活動の地域移行に伴う対応については、部活動指導員の人材バンクへの人材供給等を継続して行った。
- (3) 中学校における武道必修化支援については、全日本剣道連盟の呼びかけに応え、中学校における武道必修化対応事業として「授業協力者養成ブラッシュアップ講座」を企画し、これまでに計 130 名余りの派遣講師候補を養成した。また中学校の現場から高まる要請に応じ、授業協力外部講師の派遣を推進した。一般見学者にも開放する公開授業については、準備を進めていたが、コロナ禍で中止となった。教育行政の中で、働き方改革の一環として部活動の外部支援の機運も高まってきており、特に地域（社会体育）化への移行方針を先取りして大阪府・大阪市他の教育委員会担当部門との情報交換を密にするなど、今後も全面的に協力を行う方針である。
- (4) とかく閉鎖的であった剣道界であるが、少子高齢化問題をはじめとした共通課題について各地の剣道連盟との情報交換を進めた。同じ公益社団法人として組織運営面で共通の課題を持つ福岡県、埼玉県剣道連盟、そして地勢的に共通点の多い近畿 2 府 4 県、課題が共通する東京都等の交流を深め、お互いの課題解決に向け意見交換を進めて行く。

以下、令和 4 年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

#### I. 公益事業

##### 1、個人会員および登録団体の状況

剣道はそもそも道場を基盤とした「道場文化」の上に成り立っていた。公益法人に移行（平成 24 年 4 月～）して 11 年を経過し、組織構成員の位置づけを明確にした個人会員登録制度が定着してきたものの、一方で「道場文化」が希薄化する傾向がみられる。道場を活動拠点として、剣道を通じてよき師に巡り合い、友人関係の深い絆を形成してきたこのよき伝統を是非とも「登録団体」で補完していただきたい。まずは、稽古の場を持つことはもちろん、大会・審査会・講習会等の情報連絡、スポーツ保険や個人登録会費の納入などの事務的なとりまとめ、稽古環境の整備等にはじまり、交剣知愛の輪を広げる扇の要（かなめ）の役割を積極的に果たしていただく事を期待する。

個人会員数は、高校生相当年齢 1,712 名、大学生相当年齢 717 名、一般 13,073 名であった。なお、中学生以下の登録者は 7,168 名で、その合計は 22,670 名であった。昨年度と比べると、一般の登録者は微減（昨年度比約△0.65%）、大学生相当年齢は変動なし、高校生相当年齢は微減（昨年度比約△2.28%）、中学生以下の登録者数は変動なしとなった。個人会員数合計は、昨年度比約 0.6%の減少となった。

本年度の入会登録団体は 5 団体あり、退会登録団体は 6 団体で、本年度末の登録団体数は 559 団体となった。

##### 2、講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図るため、講習会を開催した。

剣道においては、近年マンネリ化していた講習会の参加者を増やし、指導者の一層のレベルアップを図るために、府下9地区を北・中・南の3ブロックに大きく括り、八段講師を毎回約5人投入し、審判法・日本剣道形と指導法を有機的につなぐ講習会を継続しているが、各ブロック1回ずつ実施し、受講者は延べ246名であった。

指導講師間での趣旨徹底、意思統一するため、5月21日全剣連伝達講習を兼ねて八段講師研修会・審査員審判員研修会を3年ぶりに企画・実施した。

これまで実施してきた講習会については、審判法3回、日本剣道形2回、指導法3回、女子稽古会1回、合計で9回開催した。

従前の地域・職域（大阪剣道協会、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署、道場連盟）における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進したところ、新型コロナウイルスの影響を受けたものもあるが、11回の実施となり、受講者延べ463名であった。

これら上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけており、個人登録システムにより資格認定の必須条件として厳密に管理している。が、コロナ禍において、弾力的な運用を行わざるを得ない。

全剣連の主導により中学校における武道必修化授業に対応した8回目の「授業協力者養成講習会」を学校現場で指導している者に限定して企画・開催したところ、13名が受講した。

居合道では、夏季講習会・春季講習会・伝達講習会・審判講習会1回・特錬会3回・高段者特別練成会1回・交流研修会1回の実施となった。恒例となった、派遣講師による特別講習会を全剣連居合道委員長 草間純市範士を招聘して、技術・指導技術の向上をテーマに4月2・3日に実施したところ、延143名が受講した。

杖道では、2回の主要講習会（春季講習会・秋季講習会）に加えて8回の月例研修会の実施となった（新型コロナウイルス感染拡大・使用予定施設がワクチン接種会場になるなどの事情から、数回の講習会が中止となった）。

三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を2月5日（日）エル・おおさかに於いて、講師に大島和也先生（社会医療法人警和会 大阪警察病院 脊椎・脊髄センター 副部長）を招聘して「『背筋を正して生涯武道！』～運動機能を維持するコツ～」をテーマにして、開催したところ、来場者とZoomによる参加者あわせて80名余りが受講した。

暑中稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち、例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常開催は出来ず、規模を縮小して実施した。また、寒稽古の開催についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常開催は出来ず、規模を縮小して実施した。

喫緊の課題である少子高齢化に対応する試みとして、「少年剣道塾」を試験的に開催した。

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの)

### 3、各種大会開催事業（同条第3号）

本連盟主催分・・・	6月11日（土）第5回大阪剣道マスターズ大会
	6月12日（日）第59回大阪杖道大会
	6月18日（土）第55回大阪府少年剣道大会
	7月17日（日）第69回大阪府剣道優勝大会
	9月18日（日）第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
	10月22日（土）第19回大阪府女子剣道優勝大会
本連盟後援分・・・	<del>10月9日（日）第45回関西杖道優勝大会（令和5年2月23日実施）</del>
	11月19日（土）第52回居合道段別大会
令和5年	<del>1月8日（日）第64回大阪居合道大会</del>
本連盟主管分・・・	4月29日（祝）第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
	5月22日（日）大阪市長杯第66回市民剣道大会

### 4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣（同条第4号）

次のとおり派遣した。

<剣道>

- 4月 2日(土)～4月 3日(日) 第57回剣道西日本中央講習会 神戸市  
角谷
- 4月17日(日) 第20回全日本選抜剣道八段優勝大会 名古屋市  
山本、吉田、江藤、石田
- 4月29日(祝) 第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 大阪市  
石田、河合、奥田、足達、村上、岩切、森、三浦
- 5月 3日(祝)～ 5日(祝) 第118回全日本剣道演武大会 京都市  
参加者：252名
- 5月28日(土)～29日(日) 令和4年度第1回「骨太」近畿ブロック講習会 大阪市  
指導者：平田裕亮  
受講生(男子)：森田・藤木・永井・山本・小角  
受講生(女子)：岡崎・藤崎・玉置・岡崎・近藤
- 6月10日(金)～12日(日) 第60回剣道中堅剣士講習会 奈良市  
松本
- 7月10日(日) 第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 東京都千代田区  
岡本、水野、藤崎、辻田、石塚、大道、久米、清水
- 8月21日(日) 第77回国体 近畿ブロック大会 京都市  
少年男・女、成年女子 13名
- 9月 4日(日) 第61回全日本女子剣道選手権大会 奈良県橿原市  
玉置、藤崎、北井
- 9月18日(日) 第68回全日本東西対抗剣道大会 兵庫県神戸市  
石田、大城戸、石田、江藤、船津
- 9月18日(日) 第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 大阪市  
小学生チーム48チーム、中学生チーム48チーム 計96チーム
- 10月 3日(月)～10月 5日(水) 第77回国民体育大会 栃木県宇都宮市  
成年男子・女子 計2チーム
- 10月15(土)～16日(日) 剣道講師要員「試合・審判」近畿ブロック研修会 大阪市  
石田・愛甲・平野・三浦・平田・中尾・佐藤・大森・近藤・今泉
- 11月12日(土)～14日(月) 第34回全国健康福祉祭 神奈川県伊勢原市  
大阪府チーム：田中、西山、上田、安部、本郷、川頭  
大阪市チーム：浜田、角谷、野島、原、村岡、長野  
堺市チーム：坂根、貴田、隅田、神脇、藤澤、山本

11月 3日(祝) 第70回全日本剣道選手権大会 東京都  
小角、草野、清家

11月 5日(土)～6日(日) 令和4年度第2回「骨太」近畿ブロック講習会 奈良市  
指導者：佐藤  
受講生(男子)：森田・藤木・永井・山本・小角  
受講生(女子)：岡崎・藤崎・玉置・岡崎・近藤

令和5年3月19日(日) 剣道講師要員「指導法」近畿ブロック研修会 大阪市  
愛甲・三浦・佐野・鈴木・窪田・山元・徳岡・山岡

<居合道>

5月 2日(月) 第118回全日本剣道演武大会 京都市 参加：44名  
7月 2日(土)～3日(日) 全剣連中央・地区講習会 山梨県甲府市  
参加：0名  
7月23日(土)～24日(日) 全剣連中央・地区講習会 岡山県岡山市  
参加：61名  
10月 8日(土) 第57回全日本居合道大会 東京都足立区  
本郷、垣樋、大場、白坂、中島

<杖道>

5月 2日(月) 第118回全日本剣道演武大会 京都市 参加：16名  
8月27日(土)～28日(日) 全剣連中央・地区講習会 和歌山県和歌山市  
参加：48名  
10月16日(日) 第49回全日本杖道大会 静岡県藤枝市  
初段：0名 二段：4名 三段：4名  
四段：8名 五段：2名 六段：2名  
七段：2名 個人演武：4名 参加：26名  
令和5年3月11日(土)～12日(日) 全剣連中央・地区講習会 東京都江戸川区  
参加：0名

5、称号および段級位の審査並びに段級位の授与(同条第5号)

審査方法の工夫・分散開催など新型コロナウイルス感染防止策を講じて実施した。剣道審査については変則的ながらも7回、居合道2回、杖道2回を実施した。剣道の受審者数は3,871名で、前年度より149.1%の増加、居合道および杖道は予定通り2回実施したところ、受審者数については、居合道はやや増加、杖道はやや減少した。

全剣連高段者審査会の前年度比受審者数は、剣道は大幅な増加、居合道はやや増加、杖道は大きな変動は見られなかった。

全ての段位審査について、新型コロナウイルスの影響を受ける前の水準には遠く及ばない状況であった。

6、功労者の表彰(同条第6号)

①令和4年度 全剣連 有功賞 山本 重樹

②令和4年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞			
三島地区	至誠塾		
大阪南地区	阿倍野少年剣道推進会		
北河内	橘信会		
中河内地区	繩手南剣道教室		
堺地区	堺警察少年剣道推進会		
泉州地区	箕土路剣道クラブ	瓏誠会	近義明正館

③令和4年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞			
	金賞		佐々井賢三
	銀賞		佐藤 由雄
	〃		羽賀 正
	〃		帆谷 増幸
	団体賞		箕面剣友会

④第49回全日本杖道大会 六段の部 1位 老松美由紀—渡邊ロマン

⑤八段昇段	剣道	森田 剛弘
	〃	宮坂 昌之

## 7、その他当連盟の目的達成のために必要な事業（同条第7号）

### ①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

#### ◇地区および職域講習会の開催

各地区（合同講習会含む）・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して例年活発な活動が行なわれている。今年度は、新型コロナウイルスの影響も受けたが、18回開催することができた。

#### ◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された33回の剣道大会に後援、援助を行なった。

#### ◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、57回の昇級審査会が開催された。

#### ◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し援助を行なった。

#### ◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページ・ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版の活用について検討を続け、それを促進してきたところ、新型コロナウイルス禍において、その活用が極めて大きな役割を果たすことが実証された。重点事項としてより大きく推進していくこととする。

ツイッター・メールマガジン・おおさか剣道かわら版・行事の写真・動画の配信を引き続き推進する。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を積極的に提供していく。

## ②安全対策

### 保険加入の徹底

#### ◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、当連盟主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

#### ◇スポーツ安全保険の加入状況など

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全登録団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は249団体2,268名で、加入団体数に変動なし、加入人数においては31.6%の増加となった。目標としていた加入促進が大きく進んだものと思われる。なお一層の加入団体と加入者数の増加に努めたい。

スポーツ安全協会から得た情報によれば、昨今、怪我・事故など発生した場合に指導者の管理不足・配慮不足などが問題となり損害賠償の対象になる事例も多増加しており、このようなケースにも対応できるスポーツ安全保険の加入を更に促進させたい。

#### 傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は40件で、昨年度に比べ3件減少した。新型コロナウイルスの影響を受ける前と比すれば非常に少ない件数で、稽古回数の減少によるものと思われる。事故の内容は、これまでと同様に、四肢の捻挫や骨折が多い。中でも、少年剣士の足部の骨折が多く報告されている。その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

## ③若手剣士を対象にした強化錬成会

全剣連要請による骨太強化のブロック移管を良い機会ととらえ、高校生～30歳までの若手剣士を対象に強化錬成会を企画した。大阪府における正しい剣道の継承・発展に資するため、選手・指導者共通の剣の理法を紐解きながら指導・育成・強化を推進する。併せて地域・職域の底上げ、活性化を期待している。12月17日・3月18日の2回実施したところ、それぞれ52名・49名の参加を得て、目的・趣旨を明確に充実した錬成会になった。

## II. 収益事業

### 1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計298冊を販売した。

### 2、広告等募集事業

例年、大会プログラムの広告掲載を各方面より募集しており、23件、総計223,000円となった。

## III. 共通事業

### 事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。

常置委員会として、総務、IT・広報、財務、補助金審査、未来構想、学校、普及、少年、女子、講習会、審判、強化、審査、審判員選考、事業、居合道、杖道、審査員選考の18専門委員会を設置、それぞれの領域で活動を行った。

上記会議の一部を、Zoomを活用して開催した。



## 令和4年度事業報告 資料

### I 剣道

#### (1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

	講習会名称	実施回数	指導者数	参加者数
連 盟 主 催	審判講習会	3回	15名	130名
	日本剣道形講習会	2回	9名	90名
	指導法講習会	3回	14名	37名
	女子稽古会・講習会	1回	2名	45名
	計	9回	40名	302名

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止したもの)

#### (2) 各種大会の開催

- 5月22日(日) 大阪市長杯第66回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)  
於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)  
優勝：男子の部…大阪拘置所  
優勝：女子の部…NTT西日本 参加：37チーム  
226名
- 6月11日(土) 第5回大阪剣道マスターズ大会 於大阪市立修道館  
参加：延110名(剣道：79名、居合道：15名、杖道：16名)
- 6月18日(土) 第55回大阪府少年剣道大会(小学生個人) 於おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)  
午前の部 低学年(参加：167名)  
優勝 Aブロック：塩川 剛成 Bブロック：天日 奏 Cブロック：桂木 綱大  
午後の部 高学年(参加：221名)  
優勝 Aブロック：一条 龍樹 Bブロック：森 智輝 Cブロック：湯川 颯介
- 7月17日(日) 第69回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪 (大阪市中央体育館)  
参加：147チーム、901名  
優勝 男子一般：大阪剣道協会第一機動隊  
優勝 女子一般：大阪剣道協会術科指導室  
優勝 高校男子：近畿大学附属高等学校
- 9月18日(日) 第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市・大剣連主催)  
於おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)  
参加：小学生の部2チーム  
中学生の部2チーム

10月22日(土) 第19回大阪府女子剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館  
 個人戦の部 優勝 一部：武田 二部：有本 三部：鈴鹿 参加：98名  
 四部：畠山 五部：金谷  
 団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会  
 二部：茨木市剣道協会  
 参加：34チーム、112名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行い開催促進した。

### (3) 各種予選会の開催

4月23日(土) 第34回全国健康福祉祭剣道交流大会選手選考会 於大阪市立修道館  
 参加：39名

代表：(大阪府チーム) 田中、西山、上田、安部、本郷、川頭  
 (大阪市チーム) 浜田、角谷、野島、原、村岡、長野  
 (堺市チーム) 坂根、貴田、隅田、神脇、藤澤、寺田

5月8日(日) 第14回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於大阪市立修道館  
 参加：53名  
 代表：岡本、水野、藤崎、辻田、石塚、大道、久米

5月15日(日) 第77回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於丸善インテックアリーナ大阪  
 (大阪市中央体育館)  
 参加：130名  
 代表：(男子) 小角、浅井、大石、藤武、愛甲  
 (女子) 藤崎、石塚→有本、近藤

6月25日(土) 第61回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館  
 参加：38名  
 代表：玉置、藤崎、北井

8月28日(日) 第70回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於大阪市立修道館  
 参加：76名  
 代表：小角、草野、清家

令和5年2月23日(祝) 第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選 於丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)  
 参加：142名  
 代表：石塚、林、山崎、吉田、草野、野中、平田

### (4) 審査会

7月23日(土) 東大阪アリーナ…(初段・二段)  
 7月31日(日) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(三段～五段)  
 10月8日(土) 丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)…(三段～五段)  
 10月10日(祝) 丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)…(初段・二段)  
 11月23日(祝) おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)…(初段～三段)  
 令和5年1月22日(日) 高槻市古曽部防災公園体育館…(初段～三段)  
 3月19日(日) 丸善インテックアリーナ大阪(大阪市中央体育館)…(初段～五段)

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比
受審者数	1,772	923	584	293	299	3,871	+1,276 +49.2%
(うち女性)	656	340	148	76	66	1,286	+ 378 +41.6%
合格者数	1,243	498	232	80	79	2,132	+ 158 +8.0%
(うち女性)	437	185	65	11	19	717	+ 80 +12.6%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比
受審者数	284	416	271	61	29	—	1,061	+285 +36.7%
合格者数	74	79	2	61	29	0	245	+ 39 +18.9%

(※合格者数には、再受審者を含む)

#### (5) その他の事業

7月17日(日) 第69回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)

演武 日本剣道形 秋田 - 松江  
宝蔵院流 槍術 前田 - 小寺  
小野派一刀流 組太刀 粕井 - 加藤

7月29日(金)～30日(土) 暑中稽古 於おおきにアリーナ舞洲  
(舞洲アリーナ)

~~令和5年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)~~

~~参加： 名~~

3月の国際女性DAYに合わせた実施してきたオール大阪剣道 WOMAN フェスタは、諸般の事情により、中止した。

## II 居合道

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止したもの)

### (1) 講習会の開催および指導者の育成

5月 8日(日)	第1回特別強化練習会	於丸善インテックアリーナ大阪	参加： 97名
6月 5日(日)	審判講習会	於千島体育館	参加： 59名
8月 6日(土)	夏季居合道講習会	於修道館	参加：189名
8月13日(土)	第2回特別強化練習会	於修道館	参加： 97名
9月18日(日)	全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：136名
令和5年1月 8日(日)	春季居合道講習会	於エディオンアリーナ大阪	参加：166名
1月15日(日)	新年合同稽古会	於修道館	参加：130名
2月 4日(土)	第3回特別強化練習会	於千島体育館	参加：102名
2月11日(祝)	高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加： 29名
2月19日(日)	古流研修会	於修道館	参加：111名
令和4年4月 2日(土)～ 3日(日)	特別講師講習会	於修道館	参加：延169名
全剣連居合道部委員長：草間 純市 範士			

### (2) 各種大会の開催

11月20日(日) 第52回居合道段別大会 於修道館 参加：149名

(段外は優秀賞、初段～六段は優勝、七段は最優秀賞・部長賞の受賞者のみを記載)

段外：安岡、美馬、辻井、米川

初段：中尾 二段：本田 三段：元家

四段：依田 五段：大場 六段：白井

七段：最優秀賞…垣樋、 部長賞…柴田

~~令和5年1月 8日(日) 第64回大阪居合道大会 於エディオンアリーナ大阪  
(大阪府立体育会館)~~

~~参加：——名~~

~~(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は福田一男杯、居合道同志会長杯および優秀演武者受賞者のみを記載)~~

~~＜男女混成＞ 段外：——名~~

~~七段…福田一男杯受賞者：——~~

~~……大阪居合道同志会長杯：——~~

~~……最優秀演武者：——~~

~~＜女子の部＞ 初段：—— 二段：——~~

~~二段：—— 四段：——~~

~~五段：—— 六段：——~~

~~＜男子の部＞ 初段：—— 二段：——~~

~~三段：—— 四段：——~~

~~五段：—— 六段：——~~

~~＜団体の部＞ 優勝：—— 2位：——~~

### (3) 各種予選会の開催

8月 6日(土) 第57回全日本居合道大会大阪府選手最終選考会  
(審判講習会) 於大阪市立修道館  
監督：本郷、垣樋 選手：大場、白坂、中島 参加： 13名

~~9月23日(祝)第64回大阪居合道大会大阪府予選会 於大阪市立修道館  
参加: 〃名  
3位: 〃  
決勝戦は、1月8日大阪居合道大会で実施、優勝: 〃 2位: 〃~~

9月23日(祝)大阪府団体対抗居合道優勝大会 於大阪市立修道館  
参加: 16チーム、131名

<団体戦>

優勝: 無外流居合兵道武泉会 A 2位: 春風会 A  
3位: 無外流一法会 B、水月会

<個人演武>

段外 優秀演武賞: 辻井  
初段 優秀演武賞: 竹森、森田、田邊、岡野、彌益  
二段 優秀演武賞: 小寺、告野、菅原  
三段 優秀演武賞: 大森、後藤、廻、山下  
四段 優秀演武賞: 瀧川  
五段 優秀演武賞: 土屋  
六段 優秀演武賞: 出橋、岡島  
七段 優秀演武賞: 三木、黒木、木村、柴田、東、小林、川口、綿谷、吉田  
〃 最優秀演武賞: 垣樋

(4) 審査会

8月21日(日) 於大阪市立修道館  
令和5年 3月11日(土) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	36	32	15	18	12	113	+ 6名
合格者数	35	30	12	7	5	89	+ 12名

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	24	17	14	3	1	—	59	+ 21名
合格者数	4	5	0	3	1	0	13	± 0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月17日(日) 第69回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)

演武 無外流 大太刀之形 東 - 黒木  
無双直伝英信流 詰合之位 白坂 - 白井

10月22日(土) 第19回大阪府女子剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館

演武 無双直伝英信流 詰合之位 川口 - 三木

~~令和4年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)~~

~~参加: 〃名~~

### Ⅲ 杖 道

(※ 取消線——は新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止したものの)

#### (1) 講習会の開催および指導者の育成

4月10日(日) 春季講習会	於修道館	参加：62名
4月17日(日) 一般研修会	於修道館	参加：62名
5月15日(日) 一般研修会	於修道館	参加：70名
<del>6月19日(日) 高段者研修会・審判講習会</del>	<del>於川西市総合体育館</del>	<del>参加：——名</del>
7月30日(土) 一般講習会・強化錬成会	於箕面市第一総合運動場	参加：52名
8月21日(日) 一般研修会・強化錬成会	於箕面市第一総合運動場	参加：49名
9月11日(日) 伝達講習会	於丸善インテックアリーナ大阪	参加：72名
10月30日(日) 秋季講習会	於修道館	参加：63名
11月 6日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於箕面市第一総合運動場	参加：31名
11月13日(日) 高段者研修会・強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：29名
12月11日(日) 特別研修会	於川西市総合体育館	参加：79名
令和5年1月 8日(日) 稽古始め・特別研修会	於丸善インテックアリーナ大阪	参加：69名
2月23日(祝) <del>高段者稽古会・強化錬成会</del> (「関西杖道大会」を開催)	於修道館	参加： 名
<del>3月12日(日) 高段者研修会</del>	<del>於川西市総合体育館</del>	<del>参加：——名</del>

#### (2) 各種大会の開催

6月12日(日) 第59回大阪杖道大会兼第49回全日本杖道大会大阪府予選会  
於修道館 参加：133名

(優勝者のみを記載)

小学生：谷口(兵庫尚道館) 初段以下：安藤(小野睦会) 二段：亀蔦(愛知県)  
三段：サゾノフ(守口) 四段：重富(奈良杖道会) 五段：篠原(玄部館)  
六段：上村(奈良杖道会)

令和5年2月23日(祝) 第45回関西杖道優勝大会 於修道館 参加：130名

<団体戦> 優勝：小野睦会 準優勝：兵庫尚道館  
<個人演武優秀賞> 小学生：谷口馨(兵庫尚道館)  
初段以下：新谷陽介(西宮長和会)  
三段：成尾徹(晃斎会)  
五段：荻野春奈(垂水睦会)、高田美恵(京都隻杖会)  
敢闘賞：春名モネ(小野睦会)、春名慶翔(小野睦会)

#### (3) 各種予選会の開催

※上記、6月12日(日) 第59回大阪杖道大会兼第49回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月17日(日) 於大阪市立修道館

11月20日(日) 於大阪市立修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	5	9	4	8	10	36	- 12名
合格者数	5	9	3	7	6	30	- 8名

参考 (称号および六段以上)

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	2	7	3	3	0	—	15	+ 3名
合格者数	0	3	0	3	0	—	6	- 2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月17日(日) 第69回大阪府剣道優勝大会 於丸善インテックアリーナ大阪  
(大阪市中央体育館)

演武 全日本剣道連盟杖道形 森本 — 服部  
 神道流 剣術 中野 — 奥本  
 内田流 短杖術 下谷 — 大島谷  
 一心流 鎖鎌術 鹿島 — 坂上

10月22日(土) 第19回大阪府女子剣道優勝大会 於岸和田市総合体育館  
演武 全日本剣道連盟杖道形 老松 — 齊藤

11月27日(日) 第9回広島杖道大会 於広島県立総合体育館  
 参加: 10名、団体戦1チーム  
 団体戦 優勝; 守口杖道教室  
 個人戦 優勝: (四段の部) 森本真由  
 三位: (三段の部) サゾノフマキシム、(二段の部) 有田圭吾

~~令和5年2月11日(祝) 第26回大阪武道祭 演武 於丸善インテックアリーナ大阪  
 (大阪市中央体育館) 参加: 名~~

~~3月 日( ) 第8回杖道体験講習会 於..... 参加: 名~~

普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いでいるが、新型コロナウイルスの影響により、多くの機会を得ることはできなかった。

## 令和4年度事業報告 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般法施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

公益社団法人 大阪府剣道連盟